



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月25日

上場取引所 東

上場会社名 コムチュア株式会社
 コード番号 3844 URL <http://www.comture.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理統括本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 向 浩一
 (氏名) 太田 好彦
 配当支払開始予定日

TEL 03-5745-9700
 平成28年8月26日

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	2,987	10.5	269	50.0	269	46.5	179	64.0
28年3月期第1四半期	2,703	20.8	179	3.3	183	6.9	109	9.0

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 172百万円 (56.7%) 28年3月期第1四半期 110百万円 (9.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第1四半期	36.91	36.76
28年3月期第1四半期	22.54	22.42

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	5,593		3,249		3,249	58.1
28年3月期	5,582		3,261		3,261	58.4

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 3,247百万円 28年3月期 3,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	28.00	—	38.00	66.00
29年3月期	18.00				
29年3月期(予想)		18.00	18.00	18.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	6,200	13.5	620	14.4	620	14.0	410	18.8	84.47
通期	13,000	14.5	1,500	16.0	1,500	15.8	990	20.2	203.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) ジェイモードエンタープライズ株式会社、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	5,354,100 株	28年3月期	5,353,500 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	500,081 株	28年3月期	500,081 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	4,853,619 株	28年3月期1Q	4,844,819 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、英国の欧州連合（EU）離脱決定を受け、円高基調による企業心理や設備投資への悪影響が懸念されています。しかしながら、当社事業に影響を及ぼすIT投資については、中長期的な企業成長には不可欠なものであることから、クラウドサービスを中心に拡大が継続しています。クラウドサービスの年平均成長率は21.7%で、2019年には2兆円超えの市場規模に拡大すると予測されています（IT専門の調査会社・株式会社MM総研「国内クラウドサービス需要動向」による）。また、クラウドにビッグデータやIoT（モノのインターネット）等を加えた新しい市場（第3のプラットフォーム市場）は、2020年には約14兆円の市場規模に大きく拡大することが予測されています（IT専門の調査会社・IDC Japan株式会社「国内第3のプラットフォーム市場 産業分野・企業規模別予測を発表」による）。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、クラウドビジネスの拡大を積極的に行った結果、4月に連結子会社化したしましたジェイモードエンタープライズ株式会社を含め、クラウドビジネスの対前年比成長率は、55.8%と市場の成長予想を大きく上回りました。これを含めた4つの分野での事業（グループウェアソリューション事業、ERPソリューション事業、Webソリューション事業及びネットワークサービス事業）は、順調に推移いたしました。また、ビッグデータ、AI（人工知能）、IoT等の新たな技術・分野への取組みを推進してまいりました。

また、現場の第一線にてお客様の要望や関心（ささやき）を吸い上げ、社内での知恵出しを行い、新たな提案・サービス（カタチ）にしてお客様に応える「ささやきをカタチに」する活動を重点施策の一つとして実行いたしました。同時に高付加価値化の追求、生産性向上と高品質への取組みも継続的に行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は以下のとおりとなりました。

売上高	2,987,659千円（前年同四半期比10.5%増）
営業利益	269,291千円（前年同四半期比50.0%増）
経常利益	269,018千円（前年同四半期比46.5%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	179,135千円（前年同四半期比64.0%増）

主に高い市場成長率を示すクラウドビジネスの拡大、金融分野での受注拡大、ビッグデータなどの新技術への取組み及び4月に連結子会社化したしましたジェイモードエンタープライズ株式会社の業績も寄与し、売上高は第1四半期として6期連続の増加となりました。利益面では、継続的な高付加価値化戦略による一人当たり売上高の増大、事業拡大による増益などにより、労務費の増加や連結子会社増による販管費の増加も吸収し、結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は第1四半期として過去最高益となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① ソリューションサービス関連

当セグメントにおきましては、クラウド市場の成長を背景としたクラウドビジネスの拡大、金融関連案件の受注増及びビッグデータなどの新たな事業領域の始動により、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,104,941千円（前年同四半期比19.5%増）、営業利益は169,282千円（前年同四半期比120.4%増）となりました。

② プロダクト販売関連

当セグメントにおきましては、一部製品の価格変更の影響を受けたものの、クラウドビジネスの拡大によるセールスフォース・ドットコム（Salesforce.com）のライセンスの売上は引き続き堅調であったことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は39,280千円（前年同四半期比5.9%増）、営業利益は15,725千円（前年同四半期比6.8%減）となりました。

③ ネットワークサービス関連

当セグメントにおきましては、大型案件の開発完了等の影響はあったものの、お客様のクラウドへの移行に伴う基盤系ソリューション、監視ビジネスなど、ビジネスの高付加価値化を積極的に行いました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は908,135千円（前年同四半期比4.2%減）、営業利益は84,283千円（前年同四半期比1.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べて11,088千円増加し、5,593,116千円となりました。これは主に、のれんが391,006千円増加したものの、受取手形及び売掛金が358,672千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べて22,983千円増加し、2,343,976千円となりました。これは主に、長期借入金が94,176千円増加したものの未払法人税等が247,918千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べて11,895千円減少し、3,249,139千円となりました。これは主に、剰余金の配当などにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、「平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」(平成28年5月10日公表)で発表いたしました数値から変更はありません。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間より、新たに株式を取得したジェイモードエンタープライズ株式会社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,297,518	2,044,754
受取手形及び売掛金	1,855,828	1,497,155
仕掛品	34,827	60,445
その他	222,693	300,184
流動資産合計	4,410,868	3,902,540
固定資産		
有形固定資産	267,559	407,644
無形固定資産		
のれん	263,316	654,322
その他	39,562	39,338
無形固定資産合計	302,879	693,661
投資その他の資産		
投資有価証券	204,188	192,288
差入保証金	250,145	260,204
その他	146,386	136,776
投資その他の資産合計	600,719	589,269
固定資産合計	1,171,158	1,690,575
資産合計	5,582,027	5,593,116

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	750,554	666,519
短期借入金	200,000	206,640
1年内返済予定の長期借入金	-	55,308
未払費用	229,352	263,943
未払法人税等	336,341	88,423
賞与引当金	238,150	137,046
その他	238,638	467,608
流動負債合計	1,993,037	1,885,490
固定負債		
長期借入金	-	94,176
退職給付に係る負債	136,462	126,796
資産除去債務	59,321	114,757
その他	132,171	122,756
固定負債合計	327,955	458,486
負債合計	2,320,992	2,343,976
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,526	1,018,633
資本剰余金	267,426	267,533
利益剰余金	2,881,596	2,876,302
自己株式	△910,038	△910,038
株主資本合計	3,257,511	3,252,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,676	△5,088
その他の包括利益累計額合計	1,676	△5,088
新株予約権	1,846	1,796
純資産合計	3,261,034	3,249,139
負債純資産合計	5,582,027	5,593,116

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,703,516	2,987,659
売上原価	2,194,422	2,330,639
売上総利益	509,094	657,019
販売費及び一般管理費	329,554	387,728
営業利益	179,539	269,291
営業外収益		
受取利息	2,484	0
受取配当金	11	7
助成金収入	3,319	-
保険解約返戻金	1,048	1,295
保険配当金	25	1,399
その他	1,267	616
営業外収益合計	8,155	3,320
営業外費用		
支払利息	314	1,370
事務所移転費用	2,854	-
保険解約損	-	1,107
その他	857	1,114
営業外費用合計	4,027	3,593
経常利益	183,667	269,018
特別利益		
固定資産売却益	-	1,862
特別利益合計	-	1,862
特別損失		
固定資産除却損	-	10,245
特別損失合計	-	10,245
税金等調整前四半期純利益	183,667	260,635
法人税、住民税及び事業税	74,456	81,499
四半期純利益	109,211	179,135
親会社株主に帰属する四半期純利益	109,211	179,135

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	109,211	179,135
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	798	△6,765
その他の包括利益合計	798	△6,765
四半期包括利益	110,010	172,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110,010	172,370
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	ソリューションサービス関連	プロダクト販売関連	ネットワークサービス関連			
売上高						
外部顧客への売上高	1,754,567	10,236	938,712	2,703,516	—	2,703,516
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,833	26,850	9,211	42,894	△42,894	—
計	1,761,401	37,086	947,923	2,746,411	△42,894	2,703,516
セグメント利益	76,817	16,863	85,857	179,539	—	179,539

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	ソリューションサービス関連	プロダクト販売関連	ネットワークサービス関連			
売上高						
外部顧客への売上高	2,081,900	12,834	892,925	2,987,659	—	2,987,659
セグメント間の内部売上高又は振替高	23,041	26,446	15,210	64,698	△64,698	—
計	2,104,941	39,280	908,135	3,052,357	△64,698	2,987,659
セグメント利益	169,282	15,725	84,283	269,291	—	269,291

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ソリューションサービス関連」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間にジェイモードエンタープライズ株式会社の株式を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において433,977千円であります。